

■一般目標 (GIO)

プロキシマルハーフクラウンの製作方法および注意点を理解する。固定性ブリッジを鑲付け法で製作し、支台装置、ポンティック、連結部の形態および製作工程とその注意点を理解する。
 コンポジットレジン前装冠を製作し、前歯部の補綴装置の製作工程および注意事項を理解する。特に、前歯部として重要な咬合接触（アンテリアガイダンス）の付与に注意し、犬歯部では犬歯誘導咬合により側方運動時、適正な臼歯部の離開を誘導するとともに、固有の形態および色調を再現する技法、技術を習得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・ろう材の性質を理解し、ろう付けに関する一連の操作を習得できる。
- ・研磨の重要性を理解し、操作手順を習得できる。
- ・反対側同名歯の形態を参考に審美性を考慮した歯冠形態の排列法および形成法を習得できる。
- ・適切なアンテリアガイダンスの付与、犬歯誘導咬合により側方運動時、臼歯の適正な離開を誘導する舌側面の形態を再現する方法を習得できる。
- ・審美性を考慮した窓あけの注意点を理解できる。
- ・光重合型コンポジットレジン築盛の手順、築盛方法、重合操作、形態修正法、研磨時の注意点を習得できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：金曜日 18：50～21：15

■オフィスアワー：今井 秀行 (imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 月曜日 17：00～17：45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：今井 秀行：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から、わかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：歯冠修復技工学（1年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月2日 今井 秀行 本橋 義健	1. ③④③⑤③⑥ブリッジ製作 1) ③④③⑤・③⑥ろう付けブロック製作	・ろう付け前の研磨の注意点を理解できる。 ・歯列上での正確な位置関係を再現できる。 ・ろう付け用ブロックの製作法を習得できる。
第2回 10月9日 今井 秀行 他	1. ③④③⑤③⑥ブリッジ製作 2) フレーム調整	・研磨の重要性を理解し、操作手順と注意点を習得できる。
第3回 10月16日 今井 秀行 他	1. ③④③⑤③⑥ブリッジ製作 3) 35前装	・研磨の重要性を理解し、操作手順と注意点を習得できる。
第4回 10月23日 今井 秀行 他	2. ⑬⑫⑪レジン前装冠作業用模型確認と咬合器装着 3. 46プロキシマルハー	・研磨の重要性を理解し、操作手順と注意点を習得できる。 ・製作物を作業用模型に装着して提出し、評

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	フクラウン・③④⑤⑥ブリッジの完成・提出	価およびフィードバックを受ける。
第5回 11月6日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 1) ワックスパターン形成	<ul style="list-style-type: none"> 適切なアンテリアガイダンスを付与するため、咬合器の前方制御部として、切歯路角を再現する目的と操作方法を習得できる。 咬合器の前方制御部として、切歯路を再現する目的と操作方法を習得できる。
第6回 11月13日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 1) ワックスパターン形成	<ul style="list-style-type: none"> 適切なアンテリアガイダンスを付与するため、咬合器の前方制御部として、切歯路角を再現する目的と操作方法を習得できる。 咬合器の前方制御部として、切歯路を再現する目的と操作方法を習得できる。
第7回 11月20日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 1) ワックスパターン形成 2) ポンティック基底面調整 3) 窓あけ 4) 連結	<ul style="list-style-type: none"> 適合性および接触点の正確な調整を考慮した、スプルーの植立を習得できる。 前装冠で連結間としての連結部の形態と連結方法を理解できる。
第8回 11月27日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 1) ワックスパターン形成 2) ポンティック基底 3) 窓あけ 4) 連結	<ul style="list-style-type: none"> 適合性および接触点の正確な調整を考慮した、スプルーの植立を習得できる。 前装冠で連結間としての連結部の形態と連結方法を理解できる。
第9回 12月4日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 5) 鋳造 5. 11 歯形彫刻	<ul style="list-style-type: none"> 鋳造の一連の操作について理解できる。 11 の解剖学的形態を習得できる。
第10回 12月11日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 6) 中研磨 6. 臨床的模型実習	<ul style="list-style-type: none"> 連結部の形態や歯冠空隙などの細部に修正を加え、自浄性・清掃性が良く、滑沢な研磨面の得られる工程および技法を習得できる。 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作できる。
第11回 12月18日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 7) 間接修復用コンポジットレジン前装デンティン築盛	<ul style="list-style-type: none"> 光重合型コンポジットレジン築盛の手順、築盛方法、重合操作、形態修正法、研磨時の注意点を習得できる。 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作できる。
第12回 1月8日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 7) 間接修復用コンポジットレジン前装形態修正 6. 臨床的模型実習	<ul style="list-style-type: none"> 連結部の形態や歯間空隙などの細部に修正を加え、自浄性・清掃性が良く、滑沢な研磨面の得られる工程および技法を習得できる。 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作できる。
第13回 1月15日 今井 秀行 他	4. ③④⑤⑥間接修復用コンポジットレジン前装冠 7) 間接修復用コンポジット	<ul style="list-style-type: none"> 連結部の形態や歯間空隙などの細部に修正を加え、自浄性・清掃性が良く、滑沢な研磨面の得られる工程および技法を習得でき

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	レジン前装 形態修正および研磨 6. 臨床的模型実習	る。 ・付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作できる。
第14回2月5日 今井 秀行 他	7. ジャケットクラウン製作 6. 臨床的模型実習	・ジャケットクラウンの製作方法が理解できる。 ・付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作できる。
第15回2月12日 今井 秀行 他	7. ジャケットクラウン製作 完成，提出 6. 臨床的模型実習	・ジャケットクラウンの製作方法が理解できる。 ・付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作できる。

_____」

_____」